

学校コード F113310102975

注3

設置年度 令和 5年度

計画の区分： 学部の設置

注1

**届出**

注2

共立女子大学 建築・デザイン学部

**【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書**  
(改正前大学設置基準適用)

学校法人共立女子学園  
令和5年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 大学企画課教学企画グループ

職名・氏名 シュニン カワクボゲンタ  
主任・川久保源太

電話番号 03-3237-2897

(夜間) 03-3237-2897

e-mail kikaku.gr@kyoritsu-wu.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

( ) 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/toukei/mext\\_01087.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html)

# 目次

## 建築・デザイン学部

＜建築・デザイン学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	12
4. 既設大学等の状況	13
5. 教員組織の状況	15
6. 附帯事項等に対する履行状況等	33
7. その他全般的事項	34

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人共立女子学園

## (2) 大学名

共立女子大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒101-8437

東京都千代田区一ツ橋二丁目2番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ミトライ ヤスシ) 御手洗 康 (現職就任年月 平成29年4月)		
学長	(カワクボ キヨシ) 川久保 清 (現職就任年月 平成30年4月)		
学部長	(ホリ ケイジ) 堀 啓二 (現職就任年月 令和5年4月)		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。  
(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)  
令和5年度に報告する内容 → (5)  
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。  
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和5年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
建築・デザイン学部 建築・デザイン学科 学士(美術)	美術関係	4年	100人	2年次 0人 3年次 若干名 4年次 0人	100人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A	入学定員		( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	100人				
	志願者数		( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	777				
	受験者数		( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	718				
	合格者数		( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	175				
B	入学者数		( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	108				
	入学定員超過率 B/A														1.08				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ ( )内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
1 年次	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	108 0	
2 年次	/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
3 年次			/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )
4 年次	/				[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )
計			[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	108 0

(注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ [ ]内には、**留学生の状況について、内数で**記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ ( )内には、**留年者の状況について、内数で**記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ **編入学生や転入学生も含めて**記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、**春季入学とその他の学期**(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。**春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」**を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した**在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	— 人	— 人	平成30年度	— 人	— 人	
令和元年度	— 人	— 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
令和2年度	— 人	— 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	— 人	— 人	
令和3年度	— 人	— 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	— 人	— 人	
			令和3年度	— 人	— 人	
令和4年度	— 人	— 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	— 人	— 人	
			令和3年度	— 人	— 人	
			令和4年度	— 人	— 人	
令和5年度	108 人	0 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	— 人	— 人	
			令和3年度	— 人	— 人	
			令和4年度	— 人	— 人	
			令和5年度	0 人	0 人	
合計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
  - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
  - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
  - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{\quad} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{\quad} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{\quad} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{\quad} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{\quad} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{108} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。







		木工演習Ⅱ	3前	2	1																		
		デジタル写真演習Ⅰ	2前	2																		1	
		デジタル写真演習Ⅱ	2後	2																		1	
		グラフィックCG演習Ⅰ	1後	2																		2	
		グラフィックCG演習Ⅱ	2前	2		1																1	
		グラフィックCG演習Ⅲ	2後	2		1																	
		グラフィックCG演習Ⅳ	3前	2																		1	
		グラフィックCG演習Ⅴ	3後	2																		1	
		グラフィック演習Ⅰ	2前	2		1																	
		グラフィック演習Ⅱ	2後	2		1																	
		グラフィック演習Ⅲ	3前	2		1																	
		グラフィック演習Ⅳ	3後	2		1																	
		プロダクト演習Ⅰ	2前	2		1																	
		プロダクト演習Ⅱ	2後	2		1																	
		プロダクト演習Ⅲ	3前	2		1																	
		プロダクト演習Ⅳ	3後	2		1																	
		小計(31科目)	-	0	62	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13		
	卒業ゼミ 制論文 作文 ル	ゼミナール	3通	4			6	4															
		卒業論文・制作Ⅰ	4前	4			6	4															
		卒業論文・制作Ⅱ	4後	4			6	4															
		小計(3科目)	-	12	0	0	6	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		学芸員	生涯学習概論	2前	2																		1
資格関連科目	学芸員	博物館学概論	2前	2																		1	
		博物館経営論	3後	2																		1	
		博物館資料論	3前	2																		1	
		博物館資料保存論	3前	2																		1	
		博物館展示論	3後	2																		1	
		博物館情報・メディア論	3後	2																		1	
		博物館教育論	2後	2																		1	
		博物館実習	4通	3																		1	
		小計(9科目)	-	0	0	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	
		合計(159科目)			-	32	273	19	6	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	79
		卒業要件及び履修方法																					
		[卒業要件:124単位以上修得すること。] (1)教養教育科目:必修科目10単位、選択科目18単位以上 計:28単位以上 (2)専門教育科目:必修科目22単位、選択科目74単位以上 計:96単位以上 なお、コースを選択し、選択科目は次の通り単位取得すること。 ①建築コース:科目区分「共通領域」の指定科目より12単位以上 科目区分「建築領域」の指定科目より46単位以上 その他選択科目(他領域科目含む)より16単位以上 ②デザインコース:科目区分「共通領域」の指定科目より8単位以上 科目区分「デザイン領域」の指定科目より38単位以上 その他選択科目(他領域科目含む)より28単位以上 (履修科目の登録の上限単位数:44単位(年間))																					

		木工演習Ⅱ	3前	2	1																		
		デジタル写真演習Ⅰ	2前	2																		1	
		デジタル写真演習Ⅱ	2後	2																		1	
		グラフィックCG演習Ⅰ	1後	2																		2	
		グラフィックCG演習Ⅱ	2前	2		1																1	
		グラフィックCG演習Ⅲ	2後	2		1																	
		グラフィックCG演習Ⅳ	3前	2																		1	
		グラフィックCG演習Ⅴ	3後	2																		1	
		グラフィック演習Ⅰ	2前	2		1																	
		グラフィック演習Ⅱ	2後	2		1																	
		グラフィック演習Ⅲ	3前	2		1																	
		グラフィック演習Ⅳ	3後	2		1																	
		プロダクト演習Ⅰ	2前	2		1																	
		プロダクト演習Ⅱ	2後	2		1																	
		プロダクト演習Ⅲ	3前	2		1																	
		プロダクト演習Ⅳ	3後	2		1																	
		小計(31科目)	-	0	62	0	3	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	12		
	卒業ゼミ 制論文 作文 ル	ゼミナール	3通	4			7	3															
		卒業論文・制作Ⅰ	4前	4			7	3															
		卒業論文・制作Ⅱ	4後	4			7	3															
		小計(3科目)	-	12	0	0	7	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		学芸員	生涯学習概論	2前	2																		1
資格関連科目	学芸員	博物館学概論	2前	2																		1	
		博物館経営論	3後	2																		1	
		博物館資料論	3前	2																		1	
		博物館資料保存論	3前	2																		1	
		博物館展示論	3後	2																		1	
		博物館情報・メディア論	3後	2																		1	
		博物館教育論	2後	2																		1	
		博物館実習	4通	3																		1	
		小計(9科目)	-	0	0	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	
		合計(185科目)			-	28	293	19	7	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	79
		卒業要件及び履修方法																					
		[卒業要件:124単位以上修得すること。] (1)教養教育科目:必修科目8単位、選択科目22単位以上 計:30単位以上 (2)専門教育科目:必修科目22単位、選択科目74単位以上 計:96単位以上 なお、コースを選択し、選択科目は次の通り単位取得すること。 ①建築コース:科目区分「共通領域」の指定科目より12単位以上 科目区分「建築領域」の指定科目より46単位以上 その他選択科目(他領域科目含む)より16単位以上 ②デザインコース:科目区分「共通領域」の指定科目より8単位以上 科目区分「デザイン領域」の指定科目より38単位以上 その他選択科目(他領域科目含む)より28単位以上 (履修科目の登録の上限単位数:44単位(年間))																					

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から重要となっている箇所は赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
  - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「【臨地実務実習】」による授業科目には「【臨】」、「【連携実務演習】」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
  - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和5年度】

- ・数理・データサイエンス・AI に関する基礎的な知識・技能が文理問わず全ての学生に不可欠な能力であり、「実学」教育を重視する本学にとって不可欠な基礎教育であるため、授業科目名称および選択必修区分を「情報基礎」（選択）から「データサイエンスとICTの基礎」（必修）に変更。
- ・教養教育の「英語」科目について、令和5年度に従来よりも充実したカリキュラムに再編成を行った。
- ・学生が入学時に実施するプレシメントテストの結果により、自身に合うレベルの科目を履修することができ、レベル別のきめ細かな授業進行により英語力の向上を目指す。
- ・また、「コミュニケーション」と「TOEIC」を重視することで、在学時、更には卒業後に必要な能力を向上させるカリキュラムとなった。
- ・全員が2科目2単位をレベル別に選択して履修することに加え、2年次及び3年次配当科目を充実させることで、更なる英語力の向上を目指すことが可能となった。
- ・「英語A（リスニング・スピーキング）」については、「英語コミュニケーションⅠ（Basic）」「英語コミュニケーションⅠ（Intermediate）」「英語コミュニケーションⅠ（High-intermediate）」「英語コミュニケーションⅠ（Advanced）」「英語コミュニケーションⅡ（Basic）」「英語コミュニケーションⅡ（Intermediate）」「英語コミュニケーションⅡ（High-intermediate）」「英語コミュニケーションⅡ（Advanced）」に細分化。
- ・「英語B（リーディング・ライティング）」については、「TOEICⅠ（Basic）」「TOEICⅠ（Intermediate）」「TOEICⅠ（High-intermediate）」「TOEICⅠ（Advanced）」「TOEICⅡ（Basic）」「TOEICⅡ（Intermediate）」「TOEICⅡ（High-intermediate）」「TOEICⅡ（Advanced）」に細分化。
- ・「アドバンスト英語A（ビジネス口頭表現）」及び「アドバンスト英語B（ビジネス文章表現）」については、「英語コミュニケーションⅢ（Basic）」「英語コミュニケーションⅢ（Intermediate）」「英語コミュニケーションⅢ（High-intermediate）」及び「英語コミュニケーションⅢ（Advanced）」「英語コミュニケーションⅣ（Basic）」「英語コミュニケーションⅣ（Intermediate）」「英語コミュニケーションⅣ（High-intermediate）」「英語コミュニケーションⅣ（Advanced）」「英語コミュニケーションⅤ（High-intermediate）」「英語コミュニケーションⅤ（Advanced）」「英語コミュニケーションⅥ（High-intermediate）」「英語コミュニケーションⅥ（Advanced）」に細分化。
- ・アドバンスト英語C（TOEIC）については、TOEICⅢ（High-intermediate）、TOEICⅢ（Advanced）に細分化。
- ・自己開発については、従来の内容（異文化交流を目的とした海外研修を主としたプログラム）を踏襲した「自己開発A」と、地域連携・産学連携等を主としたプログラム「自己開発B」に細分化。
- ・科目区分の「課題解決実践演習」と「リーダーシップ開発」を「リーダーシップ開発」に統合し、「教養総合ワークショップA」を「教養総合ワークショップ」に名称変更、開講を半期（後期）として2単位に変更、「教養総合ワークショップB」を「リーダーシップ開発演習Ⅰ」「リーダーシップ開発演習Ⅱ」に細分化。
- ・専任教員（准教授）の昇進により、「基礎ゼミナール」の配置を「教授2」「准教授2」から「教授3」「准教授1」に、「現代社会の諸課題（文化・芸術）」「近代デザイン史」「グラフィックCG演習Ⅱ」「グラフィックCG演習Ⅲ」「グラフィック演習Ⅱ」「グラフィック演習Ⅲ」の配置を「准教授1」から「教授1」に、「建築・デザイン概論Ⅰ」「建築・デザイン概論Ⅱ」「プレゼンテーションテクニック」「建築・デザイン総合演習」「ゼミナール」「卒業論文・制作Ⅰ」「卒業論文・制作Ⅱ」の配置を「教授6」「准教授4」から「教授7」「准教授3」に変更。
- ・兼任講師2名の昇進により、「陶芸演習」「木工演習Ⅰ」「インテリアデザイン演習Ⅱ」の配置を「兼任・兼任1」から「助教1」に変更。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。
  - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

## (2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
14 科目	136 科目	9 科目	159 科目	12 科目 [ △2 ]	165 科目 [ 29 ]	9 科目 [ — ]	186 科目 [ 27 ]	全学で共通に実施している教養教育科目に係る変更

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

### (3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
  - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

### (4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
  - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

### (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{159} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考	
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	<共用する他の学校 > 共立女子短期大学 (収容定員400名) 法令上の必要面積： 4,000㎡ 共立女子高等学校 (収容定員1,080名) 面積基準：運動場と して8,400㎡(中学校 との共用可) 共立女子第二高等学 校 (収容定員720名) 面積基準：運動場と して8,400㎡(中学校 との共用可) 共立女子中学校 (収容定員960名) 面積基準：運動場と して8,400㎡ 共立女子第二中学校 (収容定員480名) 面積基準：運動場と して6,000㎡	
	校舎敷地	39,671.14 ㎡	12,862.50 ㎡	59,752.86 ㎡	112,286.50 ㎡		
	運動場用地	8,000.00 ㎡	3,000.00 ㎡	21,000.00 ㎡	32,000.00 ㎡		
	小 計	47,671.14 ㎡	15,862.50 ㎡	80,752.86 ㎡	144,286.50 ㎡		
	そ の 他	0 ㎡	72,582.93 ㎡	0 ㎡	72,582.93 ㎡		
	合 計	47,671.14 ㎡	88,445.43 ㎡	80,752.86 ㎡	216,869.43 ㎡		
(2) 校 舎	専 用	24,206.53 ㎡ (24,206.53 ㎡)	43,954.38 ㎡ (43,954.38 ㎡)	共用する他の 学校等の専用 1,570.00 ㎡ (1,570.00 ㎡)	計 69,730.91 ㎡ (69,730.91 ㎡)	共立女子短期大学と共用 法令上の必要面積：3,650㎡	
	講 義 室	75室	演 習 室 49室	実験実習室 29室	情報処理学習施設 11室 (補助職員7人)		語学学習施設 3室 (補助職員0人)
(3) 教 室 等	新設学部等の名称				室 数		
(4) 専任教員研究室	ビジネス学部 ビジネス学科				19 室		
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点
	建築・デザイン 学部	351,353 [101,519]	1,784 [390]	32 [32]	2,823	31,795	1,714
	建築・デザイン 学科	(351,353 [101,519])	(1,784 [390])	(32 [32])	(2,823)	(31,795)	(1,714)
	計	351,353 [101,519] (351,353 [101,519])	1,784 [390] (1,784 [390])	32 [32] (32 [32])	2,823 (2,823)	31,795 (31,795)	1,714 (1,714)
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		
	6,637㎡		623		463,406		
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				
	959㎡		該 当 な し				
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	350千円	図書購入費	3,415千円	8,039千円	4,000千円
	共同研究費等	21,000千円	設備購入費	76,320千円	957千円	3,498千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次 1,400千円	第2年次 1,250千円	第3年次 1,250千円	第4年次 1,250千円	第5年次 — 千円	第6年次 — 千円
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学経常費補助金、資産運用収入、雑収入等					

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	共立女子大学										平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	0	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	1	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	1
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考				
家政学部	4	345	-	1680	-	1.05	1.05	1.06	1.05	2023	昭和24	東京都千代田区一ツ橋二丁目2番1号 東京都八王子市元八王子一丁目710番地-						
被服学科	4	90	-	360	学士(家政学)	1.08	1.08	1.10	1.10		昭和24							
食物栄養学科	4	105	-	420	学士(家政学)	1.05	1.05	1.05	1.04		昭和41							
食物学専攻	4	55	-	220	学士(家政学)	1.02	1.02	1.02	1.01		昭和41							
管理栄養士専攻	4	50	-	200	学士(家政学)	1.08	-	1.08	-		昭和41							
建築・デザイン学科	4	0	-	300	学士(家政学)	1.16	1.16	1.18	1.16	2023	平成19		建築・デザイン学部の設置により2023年度より募集停止					
児童学科		150	-	600	学士(家政学)	1.00	-	0.99	-		平成19							
文芸学部	4	350	-	1400	-	1.03	1.03	1.11	1.08		昭和28							
文芸学科	4	350	-	1400	学士(文芸学)	1.03	1.03	1.11	1.08		平成19							
国際学部	4	250	-	1000	-	1.05	1.05	1.10	1.07		平成19							
国際学科	4	250	-	1000	学士(国際学)	1.05	1.05	1.10	1.07		平成19							
看護学部	4	100	-	400	-	1.05	1.05	1.04	1.03		平成25							
看護学科	4	100	-	400	学士(看護学)	1.05	1.05	1.04	1.03		平成25							
ビジネス学部	4	150	-	600	-	1.12	-	1.10	-	2020	令和2							
ビジネス学科	4	150	-	600	学士(ビジネス学)	1.12	-	1.10	-	2020	令和2							
建築・デザイン学部	4	100	-	100	-	1.08	-	1.08	-	2023	令和5							
建築・デザイン学科	4	100	-	100	学士(美術)	1.08	-	1.08	-	2023	令和5	2023年度より学年進行中						
大学全体	-	1295	-	5180	-	-	-	-	-	-	-							

大学の名称		共立女子短期大学								平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	1	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	0	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	1	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考				
生活科学科	2年	100人	-	200人	短期大学士(生活科学)	0.93倍	-	0.92倍	-	年度	平成19年度	東京都千代田区一ツ橋二丁目2番1号					
文科	2年	100人	-	200人	短期大学士(文科)	0.68倍	-	0.58倍	-	年度	平成19年度						
短期大学全体	-	200人	-	400人	-	-	-	-	-	年度	-						

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。  
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。(様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。)
- ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。  
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
  - ・「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。  
 なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
  - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。  
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
  - ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。  
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
  - ・「平均入学定員超過率(控除後含む)」及び「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。  
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず本学にしてください。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。



5 教員組織の状況

<建築・デザイン学部 建築・デザイン学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授 (学部長)	ホリ ケイジ 堀 啓二 (66(高)) <令和5年4月> 芸術学修士	専	教授 (学部長)	ホリ ケイジ 堀 啓二 (66(高)) <令和5年4月> 芸術学修士
		建築・デザイン概論Ⅰ※ 建築・デザイン概論Ⅱ※ 住居史 プレゼンテーションテクニック※ 建築・デザイン総合演習 建築構法 建築設計演習Ⅲ 建築設計演習Ⅳ インテリアデザイン演習Ⅰ ゼミナール 卒業論文・制作Ⅰ 卒業論文・制作Ⅱ			建築・デザイン概論Ⅰ※ 建築・デザイン概論Ⅱ※ 住居史 プレゼンテーションテクニック※ 建築・デザイン総合演習 建築構法 建築設計演習Ⅲ 建築設計演習Ⅳ インテリアデザイン演習Ⅰ ゼミナール 卒業論文・制作Ⅰ 卒業論文・制作Ⅱ
専	教授	イシダ カズヒト 石田 和人 (55) <令和5年4月> 修士 (美術)	専	教授	イシダ カズヒト 石田 和人 (55) <令和5年4月> 修士 (美術)
		基礎ゼミナール 建築・デザイン概論Ⅰ※ 建築・デザイン概論Ⅱ※ プレゼンテーションテクニック※ 家具・照明論 建築・デザイン総合演習 木工演習Ⅱ プロダクト演習Ⅰ プロダクト演習Ⅳ ゼミナール 卒業論文・制作Ⅰ 卒業論文・制作Ⅱ			基礎ゼミナール 建築・デザイン概論Ⅰ※ 建築・デザイン概論Ⅱ※ プレゼンテーションテクニック※ 家具・照明論 建築・デザイン総合演習 木工演習Ⅱ プロダクト演習Ⅰ プロダクト演習Ⅳ ゼミナール 卒業論文・制作Ⅰ 卒業論文・制作Ⅱ
専	教授	カハシ ダイスケ 高橋 大輔 (53) <令和5年4月> 博士 (工学)	専	教授	カハシ ダイスケ 高橋 大輔 (53) <令和5年4月> 博士 (工学)
		基礎ゼミナール 課題解決ワークショップ 建築・デザイン概論Ⅰ※ 建築・デザイン概論Ⅱ※ インテリアデザイン論 プレゼンテーションテクニック※ 建築・デザイン総合演習 建築計画Ⅰ 建築計画Ⅱ 建築設計演習Ⅰ 建築設計演習Ⅱ インテリアデザイン演習Ⅳ ゼミナール 卒業論文・制作Ⅰ 卒業論文・制作Ⅱ			基礎ゼミナール 課題解決ワークショップ 建築・デザイン概論Ⅰ※ 建築・デザイン概論Ⅱ※ インテリアデザイン論 プレゼンテーションテクニック※ 建築・デザイン総合演習 建築計画Ⅰ 建築計画Ⅱ 建築設計演習Ⅰ 建築設計演習Ⅱ インテリアデザイン演習Ⅳ ゼミナール 卒業論文・制作Ⅰ 卒業論文・制作Ⅱ
専	教授	フジモト マキコ 藤本 麻紀子 (50) <令和5年4月> 博士 (工学)	専	教授	フジモト マキコ 藤本 麻紀子 (50) <令和5年4月> 博士 (工学)
		建築・デザイン概論Ⅰ※ 建築・デザイン概論Ⅱ※ 人間工学 プレゼンテーションテクニック※ 環境心理学 建築・デザイン総合演習 建築CAD演習Ⅰ 建築CAD演習Ⅱ 建築総合演習 環境工学 ゼミナール 卒業論文・制作Ⅰ 卒業論文・制作Ⅱ			建築・デザイン概論Ⅰ※ 建築・デザイン概論Ⅱ※ 人間工学 プレゼンテーションテクニック※ 環境心理学 建築・デザイン総合演習 建築CAD演習Ⅰ 建築CAD演習Ⅱ 建築総合演習 環境工学 ゼミナール 卒業論文・制作Ⅰ 卒業論文・制作Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	ミスカワ フミオ 水川 史生 (55) <令和5年4月> 修士 (美術)	専	教授	ミスカワ フミオ 水川 史生 (55) <令和5年4月> 修士 (美術)
		課題解決ワークショップ 建築・デザイン概論Ⅰ※ 建築・デザイン概論Ⅱ※ デザインドローイング ビジュアルコミュニケーション論 プレゼンテーションテクニック※ 建築・デザイン総合演習 イラストレーションテクニック グラフィック演習Ⅰ グラフィック演習Ⅳ ゼミナール 卒業論文・制作Ⅰ 卒業論文・制作Ⅱ			課題解決ワークショップ 建築・デザイン概論Ⅰ※ 建築・デザイン概論Ⅱ※ デザインドローイング ビジュアルコミュニケーション論 プレゼンテーションテクニック※ 建築・デザイン総合演習 イラストレーションテクニック グラフィック演習Ⅰ グラフィック演習Ⅳ ゼミナール 卒業論文・制作Ⅰ 卒業論文・制作Ⅱ
専	教授	ヤマシタ コウスケ 山下 幸助 (64(高)) <令和5年4月> 工学修士	専	教授	ヤマシタ コウスケ 山下 幸助 (64(高)) <令和5年4月> 工学修士
		建築・デザイン概論Ⅰ※ 建築・デザイン概論Ⅱ※ プレゼンテーションテクニック※ まちづくり政策論 建築・デザイン総合演習 建築・インテリア演習Ⅰ 建築・インテリア演習Ⅱ まちづくり演習Ⅰ まちづくり演習Ⅱ まちづくり演習Ⅲ まちづくり演習Ⅳ ゼミナール 卒業論文・制作Ⅰ 卒業論文・制作Ⅱ			建築・デザイン概論Ⅰ※ 建築・デザイン概論Ⅱ※ プレゼンテーションテクニック※ まちづくり政策論 建築・デザイン総合演習 建築・インテリア演習Ⅰ 建築・インテリア演習Ⅱ まちづくり演習Ⅰ まちづくり演習Ⅱ まちづくり演習Ⅲ まちづくり演習Ⅳ ゼミナール 卒業論文・制作Ⅰ 卒業論文・制作Ⅱ
専	准教授	イハハ 妙子 稲葉 唯史 (55) <令和5年4月> 修士 (美術)	専	准教授	イハハ 妙子 稲葉 唯史 (55) <令和5年4月> 修士 (美術)
		基礎ゼミナール 課題解決ワークショップ 建築・デザイン概論Ⅰ※ 建築・デザイン概論Ⅱ※ プレゼンテーションテクニック※ 住生活論 建築・デザイン総合演習 建築図学Ⅰ 建築図学Ⅱ 建築・インテリア演習Ⅰ 建築・インテリア演習Ⅱ ゼミナール 卒業論文・制作Ⅰ 卒業論文・制作Ⅱ			基礎ゼミナール 課題解決ワークショップ 建築・デザイン概論Ⅰ※ 建築・デザイン概論Ⅱ※ プレゼンテーションテクニック※ 住生活論 建築・デザイン総合演習 建築図学Ⅰ 建築図学Ⅱ 建築・インテリア演習Ⅰ 建築・インテリア演習Ⅱ ゼミナール 卒業論文・制作Ⅰ 卒業論文・制作Ⅱ
専	准教授	針加(アミヤ) ユウコ 田中(雨宮) 裕子 (48) <令和5年4月> Master of Fine Arts (米国)	専	教授	針加(アミヤ) ユウコ 田中(雨宮) 裕子 (48) <令和5年4月> Master of Fine Arts (米国)
		基礎ゼミナール 現代社会の諸課題(文化・芸術) 建築・デザイン概論Ⅰ※ 建築・デザイン概論Ⅱ※ 近代デザイン史 プレゼンテーションテクニック※ 建築・デザイン総合演習 グラフィックCG演習Ⅱ グラフィックCG演習Ⅲ グラフィック演習Ⅱ グラフィック演習Ⅲ ゼミナール 卒業論文・制作Ⅰ 卒業論文・制作Ⅱ			基礎ゼミナール 現代社会の諸課題(文化・芸術) 建築・デザイン概論Ⅰ※ 建築・デザイン概論Ⅱ※ 近代デザイン史 プレゼンテーションテクニック※ 建築・デザイン総合演習 グラフィックCG演習Ⅱ グラフィックCG演習Ⅲ グラフィック演習Ⅱ グラフィック演習Ⅲ ゼミナール 卒業論文・制作Ⅰ 卒業論文・制作Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	ハキウダ ヒデユキ 萩生田 秀之 (46) <令和5年4月> 修士 (工学)	専	准教授	ハキウダ ヒデユキ 萩生田 秀之 (46) <令和5年4月> 修士 (工学)
		建築・デザイン概論Ⅰ※ 建築・デザイン概論Ⅱ※ プレゼンテーションテクニック※ 建築・デザイン総合演習 構造力学Ⅰ 構造力学Ⅱ 建築材料学(実験含む) 構造設計 構造計画 建築設計演習Ⅲ 建築設計演習Ⅳ ゼミナール 卒業論文・制作Ⅰ 卒業論文・制作Ⅱ			建築・デザイン概論Ⅰ※ 建築・デザイン概論Ⅱ※ プレゼンテーションテクニック※ 建築・デザイン総合演習 構造力学Ⅰ 構造力学Ⅱ 建築材料学(実験含む) 構造設計 構造計画 建築設計演習Ⅲ 建築設計演習Ⅳ ゼミナール 卒業論文・制作Ⅰ 卒業論文・制作Ⅱ
専	准教授	フカダ イロウ 福田 一郎口 (44) <令和5年4月> 学士 (造形)	専	准教授	フカダ イロウ 福田 一郎口 (44) <令和5年4月> 学士 (造形)
		課題解決ワークショップ 芸術をひらく 建築・デザイン概論Ⅰ※ 建築・デザイン概論Ⅱ※ プレゼンテーションテクニック※ デザインマネジメント論 建築・デザイン総合演習 モデリング演習 レンダリング演習 プロダクト演習Ⅰ プロダクト演習Ⅱ プロダクト演習Ⅲ ゼミナール 卒業論文・制作Ⅰ 卒業論文・制作Ⅱ			課題解決ワークショップ 芸術をひらく 建築・デザイン概論Ⅰ※ 建築・デザイン概論Ⅱ※ プレゼンテーションテクニック※ デザインマネジメント論 建築・デザイン総合演習 モデリング演習 レンダリング演習 プロダクト演習Ⅰ プロダクト演習Ⅱ プロダクト演習Ⅲ ゼミナール 卒業論文・制作Ⅰ 卒業論文・制作Ⅱ
			専任 助教		オノ テツヤ 小野 哲也 (43) <令和6年9月> 修士 (美術学)
					陶芸演習 木工演習Ⅰ
			専任 助教		クサナギ アヤネ 草薙 彩音 (35) <令和6年9月> 学士 (家政学)
					インテリアデザイン演習Ⅱ
兼任	教授	アライ コウキ 荒井 弘毅 (56) <令和5年4月> 博士 (経済学)	兼任	教授	アライ コウキ 荒井 弘毅 (56) <令和5年4月> 博士 (経済学)
		経済を学ぶ			経済を学ぶ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	イカミ コウヘイ 池上 公平 (66) <令和5年4月> 文学修士	兼任	教授	イカミ コウヘイ 池上 公平 (66) <令和5年4月> 文学修士
		西洋美術史概論A 西洋美術史概論B			西洋美術史概論A 西洋美術史概論B
兼任	教授	イシ ヒサオ 石井 久生 (58) <令和5年4月> 博士 (理学)	兼任	教授	イシ ヒサオ 石井 久生 (58) <令和5年4月> 博士 (理学)
		ライフプランと自己実現 人間と地理を学ぶ 自然と地理を学ぶ			ライフプランと自己実現 人間と地理を学ぶ 自然と地理を学ぶ
兼任	教授	イトウ ユウサイ 伊藤 裕才 (49) <令和5年4月> 博士 (農学)	兼任	教授	イトウ ユウサイ 伊藤 裕才 (49) <令和5年4月> 博士 (農学)
		生物学への招待			生物学への招待
兼任	教授	オカワ ヒロユキ 小川 宏幸 (52) <令和5年4月> 博士 (法学)	兼任	教授	オカワ ヒロユキ 小川 宏幸 (52) <令和5年4月> 博士 (法学)
		法律を学ぶ(概論)			法律を学ぶ(概論)
兼任	教授	キンダ(マルヤマ) ヤスコ 岸田(丸山) 泰子 (59) <令和5年4月> 博士 (看護学)	兼任	教授	キンダ(マルヤマ) ヤスコ 岸田(丸山) 泰子 (59) <令和5年4月> 博士 (看護学)
		教養総合ワークショップA 教養総合ワークショップB			<b>教養総合ワークショップ リーダーシップ開発演習Ⅰ リーダーシップ開発演習Ⅱ</b>
兼任	教授	クマガイ ヒトシ 熊谷 仁 (66) <令和5年4月> 農学博士	兼任	教授	クマガイ ヒトシ 熊谷 仁 (66) <令和5年4月> 農学博士
		化学への招待			化学への招待
兼任	教授	クレイグ ウィリアム マーク Craig William MARK (53) <令和5年4月> Doctor of Philosophy (Political Science) (豪州)	兼任	教授	クレイグ ウィリアム マーク Craig William MARK (53) <令和5年4月> Doctor of Philosophy (Political Science) (豪州)
		英語A(リスニング・スピーキング)			<b>英語コミュニケーションⅠ(Basic) 英語コミュニケーションⅠ (Intermediate) 英語コミュニケーションⅠ(High- intermediate) 英語コミュニケーションⅠ (Advanced) 英語コミュニケーションⅡ(Basic) 英語コミュニケーションⅡ (Intermediate) 英語コミュニケーションⅡ(High- intermediate) 英語コミュニケーションⅡ (Advanced) 英語コミュニケーションⅢ(Basic)</b>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	コウガ ケンジ 國分 建志 (57) <令和5年4月> 文学修士	兼任	教授	コウガ ケンジ 國分 建志 (57) <令和5年4月> 文学修士
		中国語Ⅰ(入門) 中国語Ⅱ(表現) 応用中国語(総合)			中国語Ⅰ(入門) 中国語Ⅱ(表現) 応用中国語(総合)
兼任	教授	サトウ ユウイチ 佐藤 雄一 (58) <令和5年4月> 文学修士	兼任	教授	サトウ ユウイチ 佐藤 雄一 (58) <令和5年4月> 文学修士
		基礎日本語(留学生対象) 応用日本語(留学生対象)			基礎日本語(留学生対象) 応用日本語(留学生対象)
兼任	教授	シミス アキコ 清水 明子 (65) <令和5年4月> Master of Arts※ (米国)	兼任	教授	シミス アキコ 清水 明子 (65) <令和5年4月> Master of Arts※ (米国)
		英語B(リーディング・ライティング)			TOEIC II (Basic) TOEIC II (Intermediate) TOEIC II (High-intermediate) TOEIC II (Advanced) TOEIC III (High-intermediate) TOEIC III (Advanced)
兼任	教授	タグチ(ヤスオカ) アキ 田口(保岡) 亜紀 (53) <令和5年4月> Doctorat ès lettres (仏国)	兼任	教授	タグチ(ヤスオカ) アキ 田口(保岡) 亜紀 (53) <令和5年4月> Doctorat ès lettres (仏国)
		フランス語Ⅰ(入門) フランス語Ⅱ(表現) 応用フランス語(総合)			フランス語Ⅰ(入門) フランス語Ⅱ(表現) 応用フランス語(総合)
兼任	教授	タグチ リエ 田口 理恵 (52) <令和5年4月> 博士 (保健学)	兼任	教授	タグチ リエ 田口 理恵 (52) <令和5年4月> 博士 (保健学)
		地域社会と家族を学ぶ 現代社会の諸課題(生活・地域)			地域社会と家族を学ぶ 現代社会の諸課題(生活・地域)
兼任	教授	タテマツ ミヤコ 立松 美也子 (59) <令和5年4月> 法学修士※	兼任	教授	タテマツ ミヤコ 立松 美也子 (59) <令和5年4月> 法学修士※
		法律を学ぶ(日本国憲法)			法律を学ぶ(日本国憲法)
兼任	教授	ツシヤマ ユキコ 辻山 ゆき子 (62) <令和5年4月> 文学修士	兼任	教授	ツシヤマ ユキコ 辻山 ゆき子 (62) <令和5年4月> 文学修士
		社会を学ぶ			社会を学ぶ
兼任	教授	テラチ コウジ 寺地 功次 (65) <令和5年4月> 国際学修士 Master of Arts (Political Science) (米国)	兼任	教授	テラチ コウジ 寺地 功次 (65) <令和5年4月> 国際学修士 Master of Arts (Political Science) (米国)
		国際関係を学ぶ			国際関係を学ぶ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	ナカサキ イワオ 長崎 巖 (69) <令和5年4月> 芸術学修士	兼任	教授	ナカサキ イワオ 長崎 巖 (69) <令和5年4月> 芸術学修士
		自己開発 博物館展示論 博物館実習			自己開発A 自己開発B 博物館展示論 博物館実習
兼任	教授	ナカモト キョウヘイ 中本 恭平 (61) <令和5年4月> MA in Lexicography with distinction (英国)	兼任	教授	ナカモト キョウヘイ 中本 恭平 (61) <令和5年4月> MA in Lexicography with distinction (英国)
		英語B(リーディング・ライティング)			TOEIC II (Basic) TOEIC II (Intermediate) TOEIC II (High-intermediate) TOEIC II (Advanced)
兼任	教授	ナンバ ヒロシ 南波 浩史 (52) <令和5年9月> 博士 (経済学)	兼任	教授	ナンバ ヒロシ 南波 浩史 (52) <令和5年9月> 博士 (経済学)
		情報の分析と活用A			情報の分析と活用A
兼任	教授	ニシヤマ アキヨシ 西山 暁義 (54) <令和5年4月> 博士 (文学)	兼任	教授	ニシヤマ アキヨシ 西山 暁義 (54) <令和5年4月> 博士 (文学)
		ドイツ語 I (入門) ドイツ語 II (表現) 応用ドイツ語(総合) 世界の歴史を学ぶ			ドイツ語 I (入門) ドイツ語 II (表現) 応用ドイツ語(総合) 世界の歴史を学ぶ
兼任	教授	ノゾウ セイジ 野沢 誠治 (60) <令和6年4月> MS in Management (米国) ※	兼任	教授	ノゾウ セイジ 野沢 誠治 (60) <令和6年4月> MS in Management (米国) ※
		現代社会の諸課題(経済・産業)			現代社会の諸課題(経済・産業)
兼任	教授	ハンカワ トシキ 橋川 俊樹 (66) <令和6年4月> 文学修士※	兼任	教授	ハンカワ トシキ 橋川 俊樹 (66) <令和6年4月> 文学修士※
		現代社会の諸課題(メディア・表現)			現代社会の諸課題(メディア・表現)
兼任	教授	フカツ ケンイチロウ 深津 謙一郎 (56) <令和5年4月> 修士 (文学) ※	兼任	教授	フカツ ケンイチロウ 深津 謙一郎 (56) <令和5年4月> 修士 (文学) ※
		論理的思考・文章表現 文学をひらく			論理的思考・文章表現 文学をひらく
兼任	教授	フクダ オサム 福田 收 (65) <令和5年4月> 文学修士※	兼任	教授	フクダ オサム 福田 收 (65) <令和5年4月> 文学修士※
		情報基礎 哲学とは何か 倫理学とは何か			データサイエンスとICTの基礎 哲学とは何か 倫理学とは何か

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	フジタ タケヒサ 藤田 岳久 (56) <令和5年4月> 学術修士	兼任	教授	フジタ タケヒサ 藤田 岳久 (56) <令和5年4月> 学術修士
		情報処理 情報の分析と活用B			情報処理 情報の分析と活用B
兼任	教授	ホノ トキ 細野 豊樹 (61) <令和6年4月> 公共政策学修士 法学修士	兼任	教授	ホノ トキ 細野 豊樹 (61) <令和6年4月> 公共政策学修士 法学修士
		現代社会の諸課題(環境・科学)			現代社会の諸課題(環境・科学)
兼任	教授	ミルス アンソニー Mills Anthony (65) <令和5年4月> M.A. in Applied Linguistics (英国)	兼任	講師	ミルス アンソニー Mills Anthony (65) <令和5年4月> M.A. in Applied Linguistics (英国)
		英語A(リスニング・スピーキング)			英語コミュニケーションⅠ(Basic) 英語コミュニケーションⅠ (Intermediate) 英語コミュニケーションⅠ(High- intermediate) 英語コミュニケーションⅠ (Advanced) 英語コミュニケーションⅢ (Intermediate) 英語コミュニケーションⅢ(High- intermediate) 英語コミュニケーションⅢ (Advanced) 英語コミュニケーションⅣ(Basic) 英語コミュニケーションⅣ (Intermediate)
兼任	教授	ムラセ ヒロキ 村瀬 浩貴 (59) <令和5年4月> 博士 (工学)	兼任	教授	ムラセ ヒロキ 村瀬 浩貴 (59) <令和5年4月> 博士 (工学)
		数学への招待 物理学への招待			数学への招待 物理学への招待
兼任	教授	ヤソダ ヒロト 八十田 博人 (57) <令和5年4月> 修士 (学術) ※	兼任	教授	ヤソダ ヒロト 八十田 博人 (57) <令和5年4月> 修士 (学術) ※
		政治を学ぶ			政治を学ぶ
兼任	教授	ヨシザワ ヤヨイ 吉澤 弥生 (52) <令和6年4月> 博士 (人間科学)	兼任	教授	ヨシザワ ヤヨイ 吉澤 弥生 (52) <令和6年4月> 博士 (人間科学)
		女性の生き方と社会			女性の生き方と社会
兼任	准教授	ウエダ ミチ 上田 美和 (49) <令和5年4月> 博士 (文学)	兼任	准教授	ウエダ ミチ 上田 美和 (49) <令和5年4月> 博士 (文学)
		日本の歴史を学ぶ			日本の歴史を学ぶ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	コトウ カシ 近藤 壮 (52) <令和5年4月> 修士 (哲学)	兼任	准教授	コトウ カシ 近藤 壮 (52) <令和5年4月> 修士 (哲学)
		日本・東洋美術史概論A 日本・東洋美術史概論B			日本・東洋美術史概論A 日本・東洋美術史概論B
兼任	准教授	サラ リネー アサダ Sarah Renee Asada (40) <令和5年4月> 博士 (学術)	兼任	准教授	サラ リネー アサダ Sarah Renee Asada (40) <令和5年4月> 博士 (学術)
		英語A(リスニング・スピーキング) アドバンスト英語A(ビジネス口頭表現) アドバンスト英語B(ビジネス文章表現)			英語コミュニケーションⅡ(Basic) 英語コミュニケーションⅡ(Intermediate) 英語コミュニケーションⅡ(High-intermediate) 英語コミュニケーションⅡ(Advanced) 英語コミュニケーションⅣ(High-intermediate) 英語コミュニケーションⅣ(Advanced) 英語コミュニケーションⅤ(High-intermediate) 英語コミュニケーションⅤ(Advanced) 英語コミュニケーションⅥ(High-intermediate) 英語コミュニケーションⅥ(Advanced)
兼任	准教授	カノ マイコ 高野 麻衣子 (42) <令和6年4月> 博士 (学術)	兼任	准教授	カノ マイコ 高野 麻衣子 (42) <令和6年4月> 博士 (学術)
		企業と社会の仕組み			企業と社会の仕組み
兼任	准教授	イワキ ナツ 岩城 奈津 (60) <令和6年4月> Master of Business Administration (英国)	兼任	准教授	イワキ ナツ 岩城 奈津 (60) <令和6年4月> Master of Business Administration (英国)
		ワークショップファシリテーション			ワークショップファシリテーション
兼任	講師	イジマ ソウタロウ 飯島 聡太郎 (40) <令和6年4月> 博士 (商学)	兼任	講師	イジマ ソウタロウ 飯島 聡太郎 (40) <令和6年4月> 博士 (商学)
		マーケティング			マーケティング



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	イアブ アハムド エベド EHAB AHMED EBEID (53) <令和5年4月> 修士 (文学)			
		アラビア語			
			兼任	講師	ハセガワ ソウ 長谷川 奏 (64) <令和5年4月> 博士 (文学)
					アラビア語
兼任	講師	イン(ムロイ) カエ 石井(室井) 香絵 (41) <令和7年9月> 修士 (人文学)	兼任	講師	イン(ムロイ) カエ 石井(室井) 香絵 (41) <令和7年9月> 修士 (人文学)
		博物館経営論			博物館経営論
兼任	講師	イン シンイチロウ 石井 慎一郎 (31) <令和6年4月> 修士 (芸術学)			
		グラフィックCG演習Ⅱ グラフィックCG演習Ⅳ			
			兼任	講師	エヅラ ナツコ 恵面 奈津子 (48) <令和6年4月> 学士 (家政学)
					グラフィックCG演習Ⅱ
			兼任	講師	モキ シオリ 茂木 菜 (32) <令和7年4月> 学士 (家政学)
					グラフィックCG演習Ⅳ
兼任	講師	仔カワ(ハセカワ) ヒロアキ 市川(長谷川) 寛明 (60) <令和7年4月> 博士 (社会学)	兼任	講師	仔カワ(ハセカワ) ヒロアキ 市川(長谷川) 寛明 (60) <令和7年4月> 博士 (社会学)
		博物館資料論			博物館資料論
兼任	講師	イチゼン ハルコ 一前 春子 (52) <令和5年4月> 博士 (教育学)	兼任	講師	イチゼン ハルコ 一前 春子 (52) <令和5年4月> 博士 (教育学)
		心理を学ぶ			心理を学ぶ
兼任	講師	ウエニシ アキラ 上西 明 (65) <令和7年4月> 工学修士	兼任	講師	ウエニシ アキラ 上西 明 (65) <令和7年4月> 工学修士
		建築設計演習Ⅳ インテリアデザイン演習Ⅲ			建築設計演習Ⅳ インテリアデザイン演習Ⅲ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	オオカ ヨト 大岡 ヨト (42) <令和6年4月> 修士 (教育学)	兼任	講師	オオカ ヨト 大岡 ヨト (42) <令和6年4月> 修士 (教育学)
		生涯学習概論			生涯学習概論
兼任	講師	オオスマ チカ 大沼 千佳 (44) <令和7年9月> 修士 (工学)	兼任	講師	オオスマ チカ 大沼 千佳 (44) <令和7年9月> 修士 (工学)
		建築設備			建築設備
兼任	講師	オオスマ ユウキ 大沼 勇樹 (35) <令和5年4月> 学士 (工学)	兼任	講師	オオスマ ユウキ 大沼 勇樹 (35) <令和5年4月> 学士 (工学)
		デザイン図学			デザイン図学
兼任	講師	オオハシ ミオリ 大橋 美織 (44) <令和6年4月> 修士 (哲学) ※	兼任	講師	オオハシ ミオリ 大橋 美織 (44) <令和6年4月> 修士 (哲学) ※
		博物館学概論			博物館学概論
兼任	講師	オカムラ リエ 奥村 理絵 (55) <令和7年4月> 博士 (美術)	兼任	講師	オカムラ リエ 奥村 理絵 (55) <令和7年4月> 博士 (美術)
		建築設計演習Ⅲ			建築設計演習Ⅲ
兼任	講師	オナヤ ヨシユキ 女屋 良行 (67) <令和6年4月> 学士 (美術)	兼任	講師	オナヤ ヨシユキ 女屋 良行 (67) <令和6年4月> 学士 (美術)
		デジタル写真演習Ⅰ デジタル写真演習Ⅱ			デジタル写真演習Ⅰ デジタル写真演習Ⅱ
兼任	講師	オノ テツヤ 小野 哲也 (43) <令和6年9月> 修士 (美術学)	兼任	講師	
		陶芸演習 木工演習Ⅰ			
兼任	講師	カワハラ ウララ 河原 うらら (57) <令和6年4月> 修士 (美術)	兼任	講師	カワハラ ウララ 河原 うらら (57) <令和6年4月> 修士 (美術)
		建築設計演習Ⅰ			建築設計演習Ⅰ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	キン コウヘイ 金 晃平 (36) <令和5年4月> 修士 (芸術学)	兼任	講師	キン コウヘイ 金 晃平 (36) <令和5年4月> 修士 (芸術学)
		平面構成演習 I			平面構成演習 I
兼任	講師	クサナキ アヤネ 草薙 彩音 (35) <令和6年9月> 学士 (家政学)			
		インテリアデザイン演習 II			
兼任	講師	外ウ リョウコ 工藤 良子 (53) <令和6年9月> 学士 (家政学)			
		インテリアデザイン演習 II			
			兼任	講師	シバタ ムネノ 柴田 宗紀 (49) <令和8年4月> 修士 (工学)
					インテリアデザイン演習 II
兼任	講師	クボタ アキリ 久保田 章敬 (67) <令和7年4月> 建築学学士	兼任	講師	クボタ アキリ 久保田 章敬 (67) <令和7年4月> 建築学学士
		インテリアデザイン演習 III			インテリアデザイン演習 III
兼任	講師	クロダ タイスケ 黒田 泰介 (56) <令和6年4月> 博士 (美術)	兼任	講師	クロダ タイスケ 黒田 泰介 (56) <令和6年4月> 博士 (美術)
		建築史			建築史
兼任	講師	コカ タイ 古賀 大 (62) <令和7年9月> 修士 (美術)	兼任	講師	コカ タイ 古賀 大 (62) <令和7年9月> 修士 (美術)
		インテリアデザイン演習 IV			インテリアデザイン演習 IV
兼任	講師	コジマ マサトモ 小島 真知 (56) <令和6年9月> 修士 (工学)/ Master of Architecture in Urban Design (米国)			
		建築設計演習 II			
			兼任	講師	ヤスダ ヒロミチ 安田 博道 (58) <令和5年9月> 修士 (工学)
					建築設計演習 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	コヤマ ケンタ 小山 健太 (65) <令和7年4月> 経済学学士	兼任	講師	コヤマ ケンタ 小山 健太 (65) <令和7年4月> 経済学学士
		メディア概論			メディア概論
兼任	講師	サイトトミ 齋藤 知己 (49) <令和5年9月> 学士 (芸術学)	兼任	講師	サイトトミ 齋藤 知己 (49) <令和5年9月> 学士 (芸術学)
		グラフィックCG演習 I			グラフィックCG演習 I
兼任	講師	サコ(マルヤマ) スナオ 佐子(丸山) 素直 (39) <令和5年4月> 修士 (美術)	兼任	講師	サコ(マルヤマ) スナオ 佐子(丸山) 素直 (39) <令和5年4月> 修士 (美術)
		デザインドローイング 版画演習			デザインドローイング 版画演習
兼任	講師	ジョン ブライソン Bryson Sean (56) <令和6年4月> 修士 (専門職)	兼任	講師	ジョン ブライソン Bryson Sean (56) <令和6年4月> 修士 (専門職)
		デザインCAD			デザインCAD
兼任	講師	ススキ ミドリ 鈴木 みどり (55) <令和6年9月> Master of Arts (英)	兼任	講師	ススキ ミドリ 鈴木 みどり (55) <令和6年9月> Master of Arts (英)
		博物館教育論			博物館教育論
兼任	講師	チョウ ウンヨン 趙 銀栄 (53) <令和5年4月> 修士 (学術)	兼任	講師	チョウ ウンヨン 趙 銀栄 (53) <令和5年4月> 修士 (学術)
		コリア語 I (入門) コリア語 II (表現)			コリア語 I (入門) コリア語 II (表現)
兼任	講師	ツチヤ ユウコ 土屋 裕子 (59) <令和7年4月> 修士 (文化財)	兼任	講師	ツチヤ ユウコ 土屋 裕子 (59) <令和7年4月> 修士 (文化財)
		博物館資料保存論			博物館資料保存論
兼任	講師	ツルタ タツナリ 鶴田 達成 (54) <令和5年4月> 統語論修士	兼任	講師	ツルタ タツナリ 鶴田 達成 (54) <令和5年4月> 統語論修士
		英語B(リーディング・ライティング) アドバンスト英語C(TOEIC)			TOEIC I (Basic) TOEIC I (Intermediate) TOEIC I (High-intermediate) TOEIC I (Advanced)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	ナカエ ツヨシ 中江 豪 (44) <令和6年4月> 修士 (工学)	兼任	講師	ナカエ ツヨシ 中江 豪 (44) <令和6年4月> 修士 (工学)
		建築施工			建築施工
兼任	講師	ナカガワ ティミ 中川 千恵美 (60) <令和7年9月> 学士 (芸術学)	兼任	講師	ナカガワ ティミ 中川 千恵美 (60) <令和7年9月> 学士 (芸術学)
		商品企画情報論			商品企画情報論
兼任	講師	ナカジマ サナエ 中島 早苗 (45) <令和5年4月> 博士 (体育科学)	兼任	講師	ナカジマ サナエ 中島 早苗 (45) <令和5年4月> 博士 (体育科学)
		健康スポーツ実習A 健康スポーツ実習B			健康スポーツ実習A 健康スポーツ実習B
兼任	講師	ナガノ トオル 長野 徹 (60) <令和5年4月> 博士 (文学)	兼任	講師	ナガノ トオル 長野 徹 (60) <令和5年4月> 博士 (文学)
		イタリア語			イタリア語
兼任	講師	ニシムラ アツコ 西村 厚子 (53) <令和5年4月> 文学修士 教育学修士	兼任	講師	ニシムラ アツコ 西村 厚子 (53) <令和5年4月> 文学修士 教育学修士
		英語B(リーディング・ライティング)			TOEIC I (Basic) TOEIC I (Intermediate) TOEIC I (High-intermediate) TOEIC I (Advanced)
兼任	講師	ハヤシ ヒロユキ 林 寛行 (55) <令和6年9月> 理工学士	兼任	講師	ハヤシ ヒロユキ 林 寛行 (55) <令和6年9月> 理工学士
		建築法規 建築設計演習 II			建築法規 建築設計演習 II
兼任	講師	フクダ ダイジ 福田 大治 (56) <令和5年4月> 修士 (地域研究)	兼任	講師	フクダ ダイジ 福田 大治 (56) <令和5年4月> 修士 (地域研究)
		スペイン語 I (入門) スペイン語 II (表現)			スペイン語 I (入門) スペイン語 II (表現)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	フルカワ(コジマ) サキ 古川(小島) 咲 (37) <令和7年9月> 修士 (家政学)	兼任	講師	フルカワ(コジマ) サキ 古川(小島) 咲 (37) <令和7年9月> 修士 (家政学)
		博物館情報・メディア論			博物館情報・メディア論
兼任	講師	フルヤ シュンイチ 古谷 俊一 (49) <令和6年4月> 修士 (建築学)	兼任	講師	フルヤ シュンイチ 古谷 俊一 (49) <令和6年4月> 修士 (建築学)
		インテリアデザイン演習 I			インテリアデザイン演習 I
兼任	講師	ホラグチ ユウスケ 洞口 祐輔 (42) <令和5年9月> 修士 (芸術学)	兼任	講師	ホラグチ ユウスケ 洞口 祐輔 (42) <令和5年9月> 修士 (芸術学)
		平面構成演習 II グラフィックCG演習 I グラフィックCG演習 V			平面構成演習 II グラフィックCG演習 I グラフィックCG演習 V
兼任	講師	ミヅト タケシ 光本 岳士口 (62) <令和7年4月> 教育学修士	兼任	講師	ミヅト タケシ 光本 岳士口 (62) <令和7年4月> 教育学修士
		メタルクラフト演習			メタルクラフト演習
兼任	講師	ムラタ ケイタ 村田 桂太 (57) <令和5年4月> 人文学士	兼任	講師	ムラタ ケイタ 村田 桂太 (57) <令和5年4月> 人文学士
		立体構成演習 I 立体構成演習 II			立体構成演習 I 立体構成演習 II
兼任	講師	ヤシマ ユウコ 八島 タ子 (52) <令和6年4月> 修士 (芸術学)	兼任	講師	ヤシマ ユウコ 八島 タ子 (52) <令和6年4月> 修士 (芸術学)
		建築設計演習 I			建築設計演習 I
兼任	講師	ワタナベ アスカ 渡辺 明日香 (50) <令和5年4月> 博士 (社会学)	兼任	講師	ワタナベ アスカ 渡辺 明日香 (50) <令和5年4月> 博士 (社会学)
		色彩学			色彩学

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。
- ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
- ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(研)、実(研)、兼任、兼任の順に記入してください。
- ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目」の授業科目名を記入するとともに、下付

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【令和5年度】

- ・田中（雨宮）裕子准教授は、令和5年4月2日付で、教授に昇任。
- ・小野哲也兼任講師の職位について、「兼任講師」を「助教」に変更。
- ・草薙彩音兼任講師の職位について、「兼任講師」を「助教」に変更。
- ・石井慎一郎兼任講師の退職により、恵面奈津子兼任講師に変更。（グラフィックCG演習Ⅱ）
- ・石井慎一郎兼任講師の退職により、茂木葉兼任講師に変更。（グラフィックCG演習Ⅳ）
- ・工藤良子兼任講師の退職により、柴田宗紀兼任講師に変更。（インテリアデザイン演習Ⅱ）
- ・小島真知兼任講師の退職により、安田博道兼任講師に変更。（建築設計演習Ⅱ）
- ・イーフ アハマド エベード兼任講師の退職により、長谷川奏兼任講師に変更。（アラビア語）
- ・ミルズ アンソニー兼任教授の職位を兼任講師に変更。カリキュラムの変更（英語科目の細分化・名称変更）に伴い、担当科目変更（英語コミュニケーションⅠ（Basic）、英語コミュニケーションⅠ（Intermediate）、英語コミュニケーションⅠ（High-intermediate）、英語コミュニケーションⅠ（Advanced）、英語コミュニケーションⅢ（Intermediate）、英語コミュニケーションⅢ（High-intermediate）、英語コミュニケーションⅢ（Advanced）、英語コミュニケーションⅣ（Basic）、英語コミュニケーションⅣ（Intermediate））
- ・カリキュラムの変更（英語科目の細分化・名称変更）に伴い、清水明子兼任教授の担当科目変更（TOEICⅡ（Basic）、TOEICⅡ（Intermediate）、TOEICⅡ（High-intermediate）、TOEICⅡ（Advanced）、TOEICⅢ（High-intermediate）、TOEICⅢ（Advanced））
- ・カリキュラムの変更（英語科目の細分化・名称変更）に伴い、中本恭平兼任教授の担当科目変更（TOEICⅡ（Basic）、TOEICⅡ（Intermediate）、TOEICⅡ（High-intermediate）、TOEICⅡ（Advanced））
- ・カリキュラムの変更（英語科目の細分化・名称変更）に伴い、サラ リネー アサダ兼任教授の担当科目変更（英語コミュニケーションⅡ（Basic）、英語コミュニケーションⅡ（Intermediate）、英語コミュニケーションⅡ（High-intermediate）、英語コミュニケーションⅡ（Advanced）、英語コミュニケーションⅣ（High-intermediate）、英語コミュニケーションⅣ（Advanced）、英語コミュニケーションⅤ（High-intermediate）、英語コミュニケーションⅤ（Advanced）、英語コミュニケーションⅥ（High-intermediate）、英語コミュニケーションⅥ（Advanced））
- ・カリキュラムの変更（英語科目の細分化・名称変更）に伴い、クレイグ・ウィリアム・マーク兼任教授の担当科目変更（英語コミュニケーションⅠ（Basic）、英語コミュニケーションⅠ（Intermediate）、英語コミュニケーションⅠ（High-intermediate）、英語コミュニケーションⅠ（Advanced）、英語コミュニケーションⅡ（Basic）、英語コミュニケーションⅡ（Intermediate）、英語コミュニケーションⅡ（High-intermediate）、英語コミュニケーションⅡ（Advanced）、英語コミュニケーションⅢ（Basic））
- ・カリキュラムの変更（英語科目の細分化・名称変更）に伴い、西村厚子兼任講師の担当科目変更（TOEICⅠ（Basic）、TOEICⅠ（Intermediate）、TOEICⅠ（High-intermediate）、TOEICⅠ（Advanced））
- ・カリキュラムの変更（英語科目の細分化・名称変更）に伴い、鶴田達成兼任講師の担当科目変更（TOEICⅠ（Basic）、TOEICⅠ（Intermediate）、TOEICⅠ（High-intermediate）、TOEICⅠ（Advanced））
- ・カリキュラムの変更（科目の細分化、名称変更）により、長崎巖兼教授の担当科目変更（自己開発A、自己開発B）
- ・カリキュラムの変更（科目の細分化、名称変更）により、岸田（丸山） 泰子兼任教授の担当科目変更（リーダーシップ開発演習Ⅰ、リーダーシップ開発演習Ⅱ）
- ・福田収兼任教授、「情報基礎」を「データサイエンスとICTの基礎」に授業科目名の変更。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を相当することは出来ません。**
  - ・ AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
	6
10	名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。  
 ・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
6	4	0	0	10	9	7	3	0	2	12	9
(7)	(3)	(0)	(2)	(12)	(9)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
7	3	0	2	12	9	7	3	0	2	12	9
[1]	[Δ1]	[0]	[2]	[2]	[0]	[1]	[Δ1]	[0]	[2]	[2]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(C)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	1	2
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{12}{10} = \boxed{120} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{1}{12} = \boxed{8.33} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{9}{9} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。



(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
							該当なし			
							該当なし			
							該当なし			
							該当なし			
合計 (D)						後任補充状況の集計 (E)				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
							該当なし			
							該当なし			
							該当なし			
							該当なし			
合計 (F)						後任補充状況の集計 (G)				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について、記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)					後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{10} = 0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和4年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。  
 ・ 令和5年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
						該当なし				
合計				後任補充状況の集計						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員について**、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時  (令和4年)	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。  【届出】 遵守事項	定年規程に定める退職年齢を超えて任用される建築・デザイン学部の専任教員は、基礎となる家政学部建築・デザイン学科からの教育の継続性の観点から、本学の嘱託職員規程に基づいて学部完成年度まで任用されるものであるが、完成年度後の教員組織については、教員組織の将来構想を明確化していくなかで、令和5年度には助教2名を新規採用し、年齢構成にも配慮しつつ充実した教員組織とした。 (5)	今後、開設時の教員組織の水準の維持及び特定の年齢層の偏りに留意し、定年を超えて任用する教員の退職後の後任は、教育研究業績を踏まえた学内昇格や新規採用による補充を行い、定年規程に則った教員組織とする。 (5)

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

**【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】**

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。

**【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】**

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4) (5)」と記載してください。

**【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】**

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

### <建築・デザイン学部 建築・デザイン学科>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

##### ① 実施体制

###### a 委員会の設置状況

全学教育推進機構に高等教育開発センターを設置し、センター長のもとに高等教育開発センター運営会議を設置し、運営している。

当該会議は、センター長、センター員、大学事務部長、教務課長、大学企画課長、教育学術推進課長、連携推進課長、大学各学部並びに短期大学から機構長が指名する教員、機構長が指名する職員若干名により構成されている。

また、建築・デザイン学部におけるFDは、高等教育開発センターでの検討を受けて、学部の委員が中心となり、学部内におけるFDの推進等を、学部長・学部長補佐・主任と連携を取りながら実施する。（規程添付）

###### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

高等教育開発センター運営会議は、令和5年度は以下の通りの開催を予定している。建築・デザイン学部からは1名が参加する。

開催予定（4/17、5/15、6/19、7/20、9/19、10/19、11/20、12/18、1/15、2/19、3/18）

###### c 委員会の審議事項等

- (1) SD・FDの実施に関する事
- (2) 授業支援の実施に関する事
- (3) 学修支援の実施に関する事
- (4) 成績評価に関する事
- (5) 教材活用に関する事
- (6) ICT活用に関する事
- (7) その他機構が必要と認めた業務

##### ② 実施状況

###### a 実施内容

- ・ 新任教員対象のFD・SD研修会
- ・ 主題設定型FD・SD研修会
- ・ 授業設計・実施支援
- ・ 授業見学会の実施
- ・ ルーブリックの活用支援
- ・ シラバスチェックの実施
- ・ 授業を振り返るリフレクションシートの作成とティーチングポートフォリオの作成

###### b 実施方法

- ・ 教員（非常勤講師含む）を対象とした研修会を実施し、授業内容や授業方法の改善に役立てる。
- ・ その他、高等教育開発センター運営会議での検討を受けて、高等教育開発センターの支援に基づき、各学部

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・令和4年4月23日に、新任教員対象のFD研修会（懇談会）を実施。12名の教員が参加。
- ・令和4年6月13日～25日に前期授業見学会を実施。報告書の提出者は172名。
- ・令和4年8月5日～9月21日に『「共立リーダーシップ」とは』をテーマにしたオンライン研修を実施。教員の事後アンケートの回答者は149名。
- ・令和4年8月22日～9月12日に前期授業リフレクションシートを実施。提出者は174名。
- ・令和4年9月20日に「アセスメントプランの活用について」の研修を実施（学部長、学部長補佐、学科主任、教務委員長、学部の自己点検・評価実施委員会委員対象）。教員の事後アンケートの回答者は36名。
- ・令和4年11月4日～26日に後期授業見学会を実施。報告書の提出者は116名。
- ・令和5年2月11日～3月5日に後期授業リフレクションシートを実施。提出者は171名。
- ・令和5年3月13日に「変化の担い手となる ～未来はあなた、そして私たちの手の中に～」をテーマに研修を実施。53名の教員が参加。
- ・令和5年3月16日～3月31日に「リーダーシップ教育の実施方法の支援について」のオンデマンド研修を実施。教員の事後アンケートの回答者は103名。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・研修会の実施後に事後アンケートを実施し、その結果を分析・共有することで、教育改善の一助とした。
- ・ループリックの活用支援について、ウェブサイトにもループリック活用事例・ループリックの雛形を提示し、ループリック作成の一助とした。
- ・リフレクションシート作成後は作成結果（内容）を分析し、授業改善につながる取り組み事例について共有した。
- ・授業見学会では他教員の授業から得た気付きや授業改善のヒントについて報告書として提出した（専任教員は必須）。報告書の集計と分析を行い、各授業担当者にフィードバックを行った。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・前後期に各1回、実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・アンケート結果については、各授業担当者に開示し、授業担当者は結果に基づいて所感を作成、学生に公表している。
- ・アンケートの集計結果の全データを各学部長に提供している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

#### (4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

●定員充足の状況  
建築・デザイン学部建築・デザイン学科の入学定員は100人であり、開設初年度の令和5年度は新入生108名、収容定員充足率は1.08となり、適切な定員管理をした。

●人材養成像と教育課程の特色  
建築・デザイン学部建築・デザイン学科では、平成19年開設の家政学部建築・デザイン学科で行っている美術関係のカリキュラム等の同一性を保ちつつも、その範囲を「人が生きていくために必要な場」と拡げることで、より幅広く深い専門性を高められるよう発展させ、「空間」や「モノ」などを総合的に捉え、創造的に提案・実践できる人材を育成する。  
具体的には、「建築領域」と「デザイン領域」を包括的に捉えるために基礎・基盤となる知識・技能を「共通領域」の科目群で身に付け、さらに建築・デザインの各専門領域の理論・技術を「建築領域」「デザイン領域」の科目群で学び、各領域の知識・技術を基にして、他者との協働で行う研究・制作や4年間の集大成である個人による研究・制作を「ゼミナール・卒業論文・卒業制作」の科目群で行う。これらの科目を学年進行に合わせて、段階的に学ぶことができるように科目配置をしている。  
開設初年度においては、全学で共通に実施している教養教育科目の充実を行い、上記のような学部の目的・特色の実現に向けて進行している。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

記入例  
・令和5年6月 公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開 <https://www.kyoritsu-wu.ac.jp/about/outline/hyouka.html>

③ 認証評価を受ける計画  
(専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。)

・令和6年度に評価機関（(公財)大学基準協会）の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

#### (5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

a 公表予定の有無 [  有 ・  無 ]

≪ a で「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [  調査結果公表後1ヶ月以内 ・  公表後2～3ヶ月以内 ・  公表後3ヶ月以降 ]

c 公表方法 [  ウェブサイトへの掲載 ・  その他 ( ) ]

≪ a で公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 [ ( ) ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト上に公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

# 共立女子大学・共立女子短期大学高等教育開発センター規程

## 目次

- 第1条 (目的)
- 第2条 (業務)
- 第3条 (センター長)
- 第4条 (センター員)
- 第5条 (高等教育開発センター運営会議)
- 第6条 (事務)
- 第7条 (改廃)

### (目的)

第1条 共立女子大学・共立女子短期大学全学教育推進機構（以下「機構」という）に、大学院、大学、短期大学における教育及び学修支援に係る質的向上を推進し、教育の質を保証・向上するために必要な業務を実施ならびに研究・開発することを目的とする高等教育開発センター（以下「センター」という）を置く。

### (業務)

第2条 センターは、前条の目的を達成するために、次の業務を行う。

- (1) SD・FDの実施に関すること
- (2) 授業支援の実施に関すること
- (3) 学修支援の実施に関すること
- (4) 成績評価に関すること
- (5) 教材活用に関すること
- (6) ICT活用に関すること
- (7) その他機構が必要と認めた業務

### (センター長)

第3条 センターにセンター長を置く。センター長はセンターの業務を統括する。

2 センター長は、学長が機構長と協議の上、候補者を理事長に推薦し、常務理事会の議を経て理事長が任命する。

3 センター長の任期は、学長の在任期間とする。ただし、学長が辞任した場合又は欠けた場合は、後任の学長が就任する日の前日までとする。

### (センター員)

第4条 センターにセンター員を置く。

### (高等教育開発センター運営会議)

第5条 センターの円滑な運営を図るため、センター長の下に高等教育開発センター運営会議を置く。（以下、「運営会議」という。）

2 運営会議は、次の者をもって組織する。

- (1) センター長
- (2) センター員
- (3) 大学事務部長
- (4) 教務課長
- (5) 大学企画課長
- (6) 教育学術推進課長
- (7) 連携推進課長
- (8) 機構長が指名する教員および職員 若干名

3 任期は職制による者以外は1年とする。ただし、再任を妨げない。任期中に退任した場合の後任者の任期はその残任期間とする。

(事務)

第6条 センターに関する事務は、教育学術推進課が行う。

(改廃)

第7条 この規程の改廃は、全学教育推進機構運営会議を経て常務理事会の承認を得るものとする。

付則

この規程は、2022（令和4）年4月1日より施行する。

附則

この規程は、2023（令和5）年4月25日から施行し、2023（令和5）年4月1日から適用する。